

2023年

総集編

千人回峰

人には物語がある。



感動は物語を生み、人は共鳴する。

そして、さまざまな示唆を得る。

今年も物語を紡げただろうか。

人生を織りなす縦糸、横糸。

一本一本紡げただろうか。

“千人”の回峰は“千”の物語を生む。

319人目

青いケシの花に魅せられて
ヒマラヤの奥地を渉猟する

登山家

千葉 盈子

Eiko Chiba



『週刊BCN』 vol.1951 (1 / 2) 『週刊BCN』 vol.1952 (1 / 9)

320人目

大きな思い入れのなかった音楽が
生涯の仕事に変わるまで

サウンド&ミュージック クリエーション
代表取締役

河合 由里子

Yuriko Kawai



『週刊BCN』 vol.1953 (1 / 16) 『週刊BCN』 vol.1954 (1 / 23)

321人目

文学と映画とジャズに没頭した
少し長めの学生時代

サードウェーブ
取締役 eスポーツ推進本部 本部長

前田 雅尚

Masanao Maeda



『週刊BCN』 vol.1955 (1 / 30) 『週刊BCN』 vol.1956 (2 / 6)

322人目

ハードウェアづくりの世界から
新たなビジネス創造への転換

ソラミツ
代表取締役社長

宮沢 和正

Kazumasa Miyazawa



『週刊BCN』 vol.1957 (2 / 13) 『週刊BCN』 vol.1958 (2 / 20・27)

323人目

アウシュヴィッツで
未来を断たれた人々のことを
決して忘れてはならない

テレビジンを語りつぐ会 代表
作家

野村 路子

Michiko Nomura



『週刊BCN』 vol.1959 (3 / 6) 『週刊BCN』 vol.1960 (3 / 13)

324人目

少年時代の好奇心と探究心が
人生と仕事の核をつくり上げた

電子ホビー入門アドバイザー
「日刊電波新聞」特任ライター

大橋 太郎

Taro Ohashi



『週刊BCN』 vol.1961 (3 / 20) 『週刊BCN』 vol.1962 (3 / 27)

325人目

転職を促すのではなく
企業の維持・発展のための方策を
提供する

プロフェッショナルバンク
代表取締役社長

児玉 彰

Akira Kodama



『週刊BCN』 vol.1963 (4 / 3) 『週刊BCN』 vol.1964 (4 / 10)

326人目

来日して35年
中国古典に学びつつ、
新たなビジネスを模索する

芝ソフト
代表取締役
(筆名・高山流水)

王 健

Wang Jian



『週刊BCN』 vol.1965 (4 / 17) 『週刊BCN』 vol.1966 (4 / 24)

327人目

嫉妬心が火をつけた
アーティストへの転身

アーティスト

奥田 雄太

Yuta Okuda



『週刊BCN』 vol.1967 (5 / 1・8) 『週刊BCN』 vol.1968 (5 / 15)

328人目

シンクタンク時代に培った
スキルを生かして
チェンソーアートの活動を開始

チェンソーアート世界チャンピオン
(チェンソーアーティスト)
精進菜食・ベジタリアン
どらごんワンコの会 事務局長

城所 ケイジ

Keiji Kidokoro



『週刊BCN』 vol.1969 (5 / 22) 『週刊BCN』 vol.1970 (5 / 29)

329人目

餅屋の21代目が挑む
「伊勢」発、
世界最高のビール造り

伊勢角屋麦酒
(有限会社二軒茶屋餅角屋本店)
代表取締役社長

鈴木成宗

Narihiro Suzuki



『週刊BCN』 vol.1971 (6 / 5) 『週刊BCN』 vol.1972 (6 / 12)

330人目

小さな村が活発に
情報発信することで
日本全体の元気を取り戻したい

NPO法人 小さな村総合研究所
代表理事

小村幸司

Koji Komura



『週刊BCN』 vol.1973 (6 / 19) 『週刊BCN』 vol.1974 (6 / 26)

331人目

天皇皇后両陛下の前で
名前を呼ばれた瞬間
米づくりをやっていてよかったと思った

農業者／個人学習塾

松永 孝

Takashi Matsunaga



『週刊BCN』 vol.1975 (7 / 3) 『週刊BCN』 vol.1976 (7 / 10)

332人目

40代半ばにして
作曲家・ピアニストとして
生きることを決意

作曲家・ピアニスト

エイコン・ヒビノ

Acoon Hibino



『週刊BCN』 vol.1977 (7 / 17) 『週刊BCN』 vol.1978 (7 / 24)

333人目

社会的課題の解決こそが
イノベーションの源泉となる

京都大学経営管理大学院客員教授
オムロンイノベーション推進本部
シニアアドバイザー

竹林 一

Hajime Takebayashi



『週刊BCN』 vol.1979 (7 / 31) 『週刊BCN』 vol.1980 (8 / 7・14)

334人目

“もっと勉強しなければ”
という思いが語学習得や
留学へのモチベーションとなった

プレジデント社
プレジデント ウーマン 編集長

木下明子

Akiko Kinoshita



『週刊BCN』 vol.1981 (8 / 21) 『週刊BCN』 vol.1982 (8 / 28)

335人目

景気の波に翻弄されつつも
若き日から経営者としての経験を
積み重ねる

アクロスベ이라
代表取締役

須田 誠

Makoto Suda



『週刊BCN』 vol.1983 (9 / 4) 『週刊BCN』 vol.1984 (9 / 11)

336人目

地図は人間の社会と過去、現在
そして未来を描く情報の
プラットフォーム

東京地図研究社
代表取締役社長

塚田野野子

Nonoko Tsukada



『週刊BCN』 vol.1985 (9 / 18・25) 『週刊BCN』 vol.1986 (10 / 2)

337人目

さまざまなステージを経て鍛えられ
起業の道にたどり着く

ダイビック
代表取締役

野呂浩良

Hiroyoshi Noro



『週刊BCN』 vol.1987 (10 / 9) 『週刊BCN』 vol.1988 (10 / 16)

338人目

「現場をつくること」が
介護クリエイターの大きな役割だ

介護クリエイター

横木淳平

Junpei Yokogi



『週刊BCN』 vol.1989 (10 / 23) 『週刊BCN』 vol.1990 (10 / 30)

339人目

自分たちの頭で新たな事業を考え
自分たちの手によるものづくりに
挑み続ける

キヤノン電子
代表取締役社長

橋元 健

Takeshi Hashimoto



『週刊BCN』 vol.1991 (11 / 6) 『週刊BCN』 vol.1992 (11 / 13)

340人目

「元気に挨拶」「しっかり考え」
「きびきび行動」「全力でがんばる」

元・尾鷲小学校校長

世古博久

Hirohisa Seko



『週刊BCN』 vol.1993 (11 / 20・27) 『週刊BCN』 vol.1994 (12 / 4) 『週刊BCN』 vol.1995 (12 / 11)

番外編

こぼれ話

「もうい〜くつ寝ると お正月」。この歌詞を口ずさむと、あの新年の凜とした朝の空気感を覚える。きょうは12月12日、『千人回峰』総集編のコラムを書いている。掲載記事を読み返せば、新年号はブルーポピーの千葉盈子さんと、12月号は元・尾鷲小学校校長の世古博久先生。総勢22名。その折々の対談風

景が蘇る。靴を脱いでご自宅の居間に上がったことがあるし、田んぼのあぜ道で耕うん機を眺めながら、松永孝さんの農業に従事するまでの飛び跳ねた人生の話をお聞きする機会を得たりした。その耕うん機を運転していた方が、前述の世古先生なのである。社会人同期の新聞記者・大橋太

郎さんとは「おれ、おまえ」的な会話で話が弾んだ。『千人回峰』で長年の相棒であるライターの小林茂樹さんは、その分、記事の執筆段階で苦労したようだが…。私と縁の深い伊勢に話を広げよう。この地にはおいしい“お餅”がある。二軒茶屋餅がそれだ。その餅屋の21代目経営者・鈴木成宗さんは、クラブ

トビールづくりに挑戦し、世界コンクールで金賞を獲得、一代で伊勢角屋麦酒というブランドを確立された。これまで多くの方々と人生を語り合ってきた。人と人とがつながりある「縁」というのは、なかなか乙なものである。つくづく、そう思う。(BCN 奥田喜久男記)

【注】登場していただいた方々の肩書きは取材当時のものです。